

CommuniNet Extension —ホストアクセス連携用ソフト

■概要

CommuniNet Extension とは、CommuniNet を利用しパソコンとメインフレーム間のデータ交換を、ユーザアプリケーションプログラム(以下、UAP と略します)を作成して自動化するためのソフトウェアです。

CommuniNet Extension が提供するホストアクセス機能のインターフェースを使って作成した UAP で、パソコンとメインフレーム間のデータ交換、キー入力のシミュレートによるオペレーションの自動化などができます。これによって、複雑なオペレーション操作や定型業務を自動化できます。

■特徴

[プログラムインターフェース]

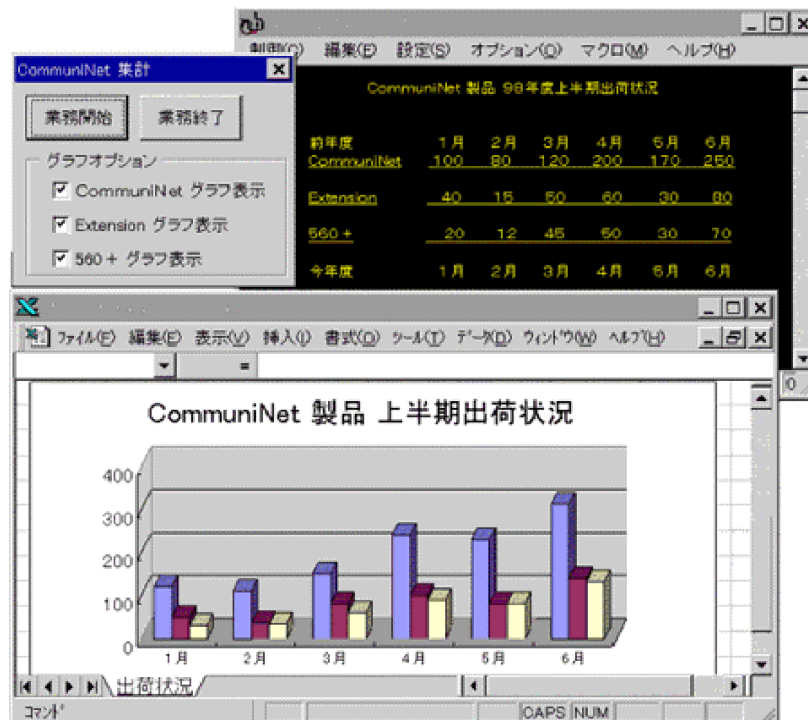
CommuniNet Extension は、従来からの DLL(Dynamic Link Library) インターフェースに加え、ActiveX コントロール(OCX)としても提供します。ActiveX コントロールは、開発言語の部品として UAP の開発に利用できます。

■機能

[ActiveX コントロール対応]

これまで DLL インターフェースで提供しているホストアクセス機能を新たに ActiveX コントロールとしても提供します。

下記の例は、CommuniNet の画面に表示されたメインフレームのデータを CommuniNet Extension を使用し Excel に取り込み、グラフ化させた例です。



[オンライン画面を経由したデータ交換]

UAP からオンライン画面の指定の行・カラム位置、または現在のカーソル位置に文字の書き込み／読み込みが行えます。またキー入力のシミュレートやオンライン画面の受信を行うことができます。

[メインフレーム側の UAP とのデータ交換]

オンライン画面を経由しないでメインフレーム側の UAP とデータの交換ができます。また、データ交換時、JIS8/シフト JIS と EBCDIK/KEIS のコード変換を行うこともできます。

[オンラインの状態認識機能]

オンラインの回線状態や、キー入力の状態など、現在のオンラインの状態を UAP から調べられます。

[オンライン画面の制御]

オンライン画面の最大/最小化や、オンライン画面の移動など、UAP からオンライン画面を制御できます。

[KEIS コードの利用]

UAP で日立標準漢字コード(KEIS コード*)の漢字を利用できます。

* CommuniNet Extension Version 4 04-01 以降では、KEIS2004 も使用できます(別製品「日立コード変換 - Client Runtime」または「Hitachi Code Converter - Client Runtime for C/COBOL」が必要です)。

[開発環境]

Visual Basic®用の標準モジュール、Visual C++®用のインクルードファイルやライブラリを提供。

以下の開発言語に対応しています。

「CommuniNet Extension Version 4」

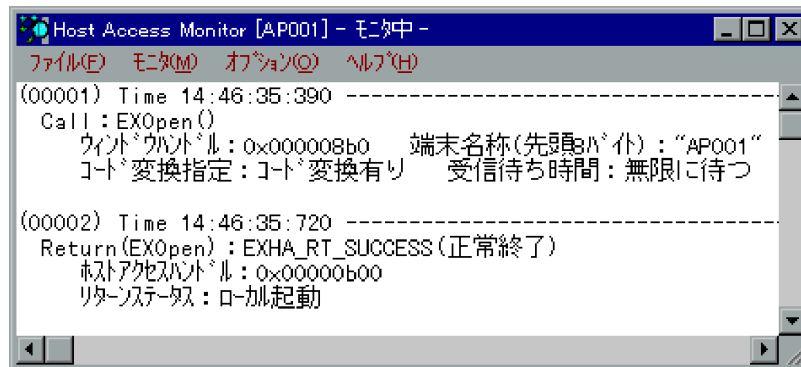
- | | |
|--------------------|----------------------|
| ・ Visual C++® 2005 | ・ Visual Basic® 2005 |
| ・ Visual C++® 2008 | ・ Visual Basic® 2008 |
| ・ Visual C++® 2010 | ・ Visual Basic® 2010 |
| ・ Visual C++® 2012 | ・ Visual Basic® 2012 |
| ・ Visual C++® 2013 | ・ Visual Basic® 2013 |
| ・ Visual C++® 2015 | ・ Visual Basic® 2015 |
| ・ Visual C++® 2017 | ・ Visual Basic® 2017 |
| ・ Visual C++® 2019 | ・ Visual Basic® 2019 |

「CommuniNet Extension Version 3」

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| ・ Visual C++® 4.0 | ・ Visual Basic® 4.0 |
| ・ Visual C++® 5.0 | ・ Visual Basic® 5.0 |
| ・ Visual C++® 6.0 | ・ Visual Basic® 6.0 |
| ・ Visual C++® .NET 2002 | ・ Visual Basic® .NET 2002 |
| ・ Visual C++® .NET 2003 | ・ Visual Basic® .NET 2003 |
| ・ Visual C++® 2005 | ・ Visual Basic® 2005 |
| ・ Visual C++® 2008 | ・ Visual Basic® 2008 |

[ユーザアプリケーションデバッグ機能]

ホストアクセスモニタの使用により、UAP からのホストアクセス関数の発行状況、リターンコードなどをリアルタイムでモニタできます。デバッグ機能を利用して、アプリケーション開発の手間となっていたテストや保守の負担を軽減できます。



■動作環境

CommuniNet Extension は以下の OS に対応しています。

製品名称	対応 OS
CommuniNet Extension Version 4	Windows® 11 Pro Windows® 11 Enterprise Windows® 10 Pro x86 Windows® 10 Enterprise x86 Windows® 10 Pro x64 Windows® 10 Enterprise x64 Windows® 8.1 Pro x86 Windows® 8.1 Enterprise x86 Windows® 8.1 Pro x64 Windows® 8.1 Enterprise x64 Windows® 8 Pro x86 Windows® 8 Enterprise x86 Windows® 8 Pro x64 Windows® 8 Enterprise x64 Windows® 7 Professional x86 Edition Windows® 7 Enterprise x86 Edition Windows® 7 Ultimate x86 Edition Windows® 7 Professional x64 Edition Windows® 7 Enterprise x64 Edition Windows® 7 Ultimate x64 Edition Windows Vista® Business x86 Edition Windows Vista® Enterprise x86 Edition Windows Vista® Ultimate x86 Edition
CommuniNet Extension Version 3	Windows® 95/98/Me/XP Windows NT® Workstation 4.0 Windows NT® Server 4.0 Windows® 2000 Professional Windows® 2000 Server Windows Server® 2003, Standard Edition Windows Server® 2003, Enterprise Edition Windows Server® 2003 R2, Standard Edition Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition

*上記対応 OS は最新バージョンの製品を示します。製品のバージョンにより対応している OS が異なります。詳細は弊社営業までお問い合わせください。

■ライセンス

CommuniNet Extension は、製品をインストールするパソコン毎にライセンスが必要です。

本製品は、パソコン毎にインストールを行う製品です。Windows®サーバ上で共有して使用することはできません。

〈商標類〉

- ・HITACHI, CommuniNet は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。
- ・Microsoft, Windows, Windows NT, Windows Server, Windows Vista, ActiveX, Excel, Visual Basic, Visual C++は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。